

瑞泉酒造



- 創業年
1887年
- 看板銘柄
「青龍」「40度瑞泉古酒」
- 特徴
熟成し深みのある
まろやかな味わい



那覇市首里崎山町 1-35

瑞穂酒造

古酒は沖縄の宝物



- 創業年
1848年
- 看板銘柄
「瑞穂」
- 特徴
豊潤な香り、
深みのある味わい



那覇市首里末吉町 4-5-16

識名酒造



- 創業年
1918年
- 看板銘柄
「時雨」
- 特徴
古風味豊かな味わい



那覇市首里赤田町 2-48

9月4日 古酒の日



”古酒の日”とは...
古酒文化の継承と発展を広く
県民に伝える為に制定され、
泡盛の古酒文化が県民に
浸透していくことを目的としています。



瑞泉酒造では製造工程を見学し、飲み比べもさせて頂きました♪新酒は泡盛の香りが強く、口の中でピリピリと弾けるように感じ、古酒は泡盛の香りを残しつつも、口あたりがマイルドでフルーティーに感じました。瑞泉酒造さんでは、泡盛をベースとしたリキュールも販売されておりますので泡盛初心者の方やお酒があまり得意ではない方にも飲みやすく、泡盛を楽しんでいただけたと思います♥どうしても飲めない方へはTシャツなどのグッズもあります✿

瑞穂酒造さんへ入ってすぐ感じたのは「泡盛の香りがすごい!」。次に驚いたのは、熟成中の無数の甕! さらに足元には地下タンク! 泡盛の香りですばい! なるのも納得です♪また、瑞穂酒造さんは伝統を大事にしながらも新しいことにも積極的に取り組んでいます。中でも珍しいと思ったのは沖縄のボタニカルを取り入れた「クラフトジン」と、離島8島の黒糖から作った「ラム」。泡盛を飲む入り口になってほしいという思いもあるそうです◎

創業は大正7年! 歴史を感じる酒造所の入り口には「時雨」の看板があり、一目で看板銘柄であるということがわかります。そんな「時雨」の新酒と古酒を特別に飲み比べをさせていただきました。普段あまり泡盛を飲む機会が無かったのですが、新酒と古酒でこんなにも違いがあることに驚きました。新酒と比べると古酒は断然! 飲みやすかったです。古酒に飲めなれると新酒が飲めなくなるので、古酒はあまり飲まないという方もいるんだとか...!



首里城からも近いです!



▲佐久本さん

◀比嘉さん



玉那覇さん



1970年代の
ラベルを復刻★
発見しました◎
「本土復帰50年記念
45酒造所」のラベルを
復刻しました◎



代表取締役 識名研二さん